

第80期 報告書

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日

心 ひろがる技術

mitsuba

株式会社 ミツバ

証券コード：7280

Topics

トピックス

中期経営計画の実現に向けて

中期経営計画進捗と2025年度以降計画



モビリティ進化への
対応

経営基盤の強化

財務体質の健全化

FY23-24進捗

財務体質健全化を優先

- ▶ 成長ポテンシャルある受注拡大 (熱マネ系、二輪エンジン補機 等)
- ▶ 中国OEM開拓は、コスト競争力が激化しており苦戦中
- ▶ グローバル拠点再編は計画通り進捗
- ▶ PSI管理高度化による在庫回転日数削減 (73日→58日)
- ▶ 人員適正化による人員削減 (▲1,300人) (23年3月期：21,800人 → 25年3月期：20,500人)
- ▶ 自己資本比率は 28.7%まで回復
- ▶ 有利子負債200億円強を返済
- ▶ A/C種類株式の償還 (200億円)
- ▶ D種類株式の発行 (100億円)

FY25-27計画

成長ポートフォリオへのリソースシフト

- ▶ インドにおいて、二輪・四輪の市場拡大に準じて積極的な投資実行、および二輪駆動のパイロットラインを設置
- ▶ ASEANにおいて、二輪を中心に積極的な投資実行
- ▶ 日本・米州では、熱マネ系/シャーシ系への積極投資
- ▶ グローバル拠点再編は当初計画を継続実行 一部地域は外部環境変化に応じて柔軟に対応
- ▶ PSI管理高度化は継続推進
- ▶ 人員適正化による人員削減は継続推進、更に生産設備の自動化による省人化
- ▶ 更なる財務健全化の推進
- ▶ 企業価値向上に向けた財務運営 (財務指標の計画達成、株主還元の拡充 等)

ミツバビジョン2030実現に向け事業戦略と財務戦略の両輪で経営を牽引

中期経営計画進捗 -財務指標-

- ▶ 自己資本比率は前中計の2023年3月期20.3%から、中計2年目の2025年3月期は28.7%まで回復
- ▶ 有利子負債は年100億円の返済を実行し、2025年3月期1,515億円の状況
- ▶ 最終年度 (28/3期) 目標は据え置きも、足元の不透明な外部環境を踏まえ、適宜見直しを実施していく

財務指標

	FY22 23/3期 実績
自己資本比率	20.3 %
株主資本比率	17.9 %
ネットD/Eレシオ	1.5 倍
ROE	1.7 %
ROA	0.3 %
有利子負債	1,704 億円
現預金	758 億円

中期経営計画 (2023-2027年度)

	FY23 24/3期 実績	FY24 25/3期 実績	FY27 28/3期 目標
自己資本比率	28.4 %	28.7 %	30 %以上
株主資本比率	21.1 %	22.4 %	29 %以上
ネットD/Eレシオ	0.6 倍	0.6 倍	0.5 倍
ROE	16.3 %	12.4 %	10 %以上
ROA	3.8 %	3.6 %	4.0 %以上
有利子負債	1,640 億円	1,515 億円	1,200 億円以下
現預金	1,022 億円	979 億円	930 億円以上

株主の皆さまへ

当連結会計年度における世界経済は、緩やかな回復基調を維持しているものの、ロシア・ウクライナ戦争を機とした欧州での経済停滞の長期化、中国経済の減速や、米国新政権の誕生、地政学的なリスクやエネルギー価格の変動が影響を及ぼしました。国内においては、材料・エネルギー価格の上昇や円安に伴う物価上昇が続く、一時的な停滞感を強めたものの、年後半は個人消費の復調や好調なインバウンド需要により回復基調を維持しました。

自動車業界におきましては、2024年のグローバル四輪車販売が暦年で88,637千台（前年比1.6%減）となりました。米国は、追加関税前の駆け込み需要により、暦年で15,977千台（前年比2.4%増）と2年連続で前年を上回りました。欧州は、暦年で12,964千台（前年比0.9%増）と2年連続で前年を上回りました。中国は、政府の買い替え補助金政策により、暦年で31,436千台（前年比4.5%増）と4年連続で前年を上回りました。日本においては、2024年度は4,576千台（前年度比1.1%増）と3年連続で前年度を上回りました。登録車は2,948千台（前年度比1.5%増）と3年連続で増加、軽自動車は1,627千台（前年度比0.1%増）と2年ぶりに増加となりました。また、グローバル二輪車販売は、最大市場であるインドが堅調な需要やインフラ投資などにより、暦年で19,543千台（前年比14.5%増）と4年連続で前年を上回りました。インドネシアは、暦年で6,333千台（前年比1.5%増）と4年連続で前年を上回りました。日本は、原付第二種と軽二輪車の減少により、2024年度で320千台（前年度比15.1%減）と2年ぶりに前年度を下回りました。

このような状況の下、当社グループにおきましては、中期経営計画（2023年度-2027年度）の2年目となり、重点施策である「モビリティ進化への対応」「経営基盤の強化」「財務体質の健全化」を、計画達成に向け引き続き推進しております。

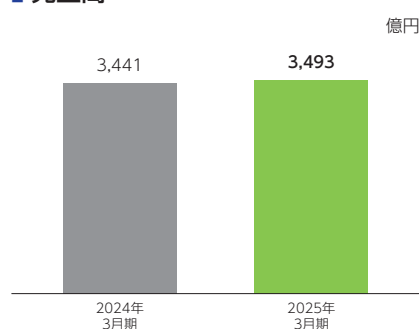
当連結会計年度の連結業績は、日本・中国エリアの四輪販売が低迷する一方、インド・インドネシアを中心とした二輪販売は堅調に推移したため、連結売上高は3,493億53百万円（前期比1.5%増）、連結営業利益は209億30百万円（前期比1.1%減）、連結経常利益は197億88百万円（前期比11.4%減）となりました。また、中国・トルコ子会社等で減損損失16億7百万円の計上があったため、税金等調整前当期純利益は180億91百万円（前期比2.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は118億64百万円（前期比13.7%減）となりました。

取締役社長 日野 貞実

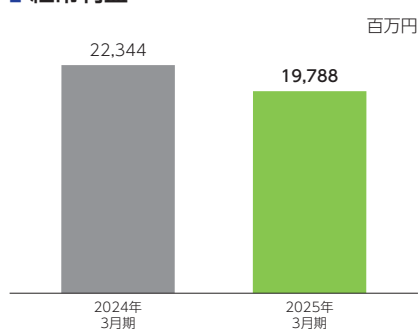


■ 連結財務ハイライト

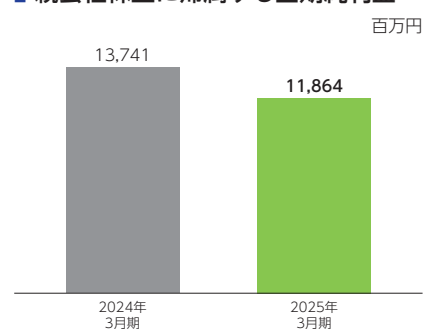
■ 売上高



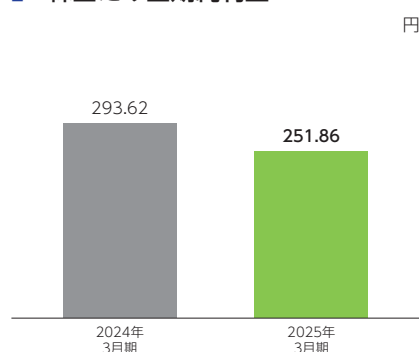
■ 経常利益



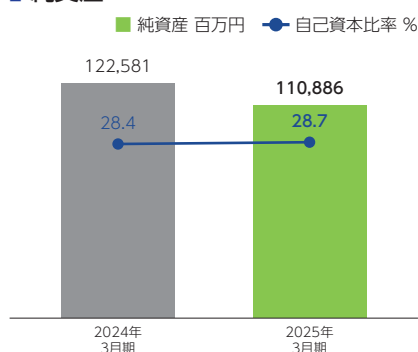
■ 親会社株主に帰属する当期純利益



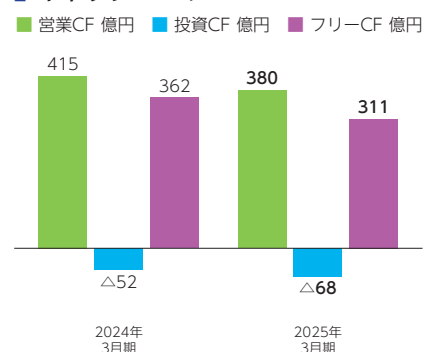
■ 1株当たり当期純利益



■ 純資産



■ キャッシュ・フロー



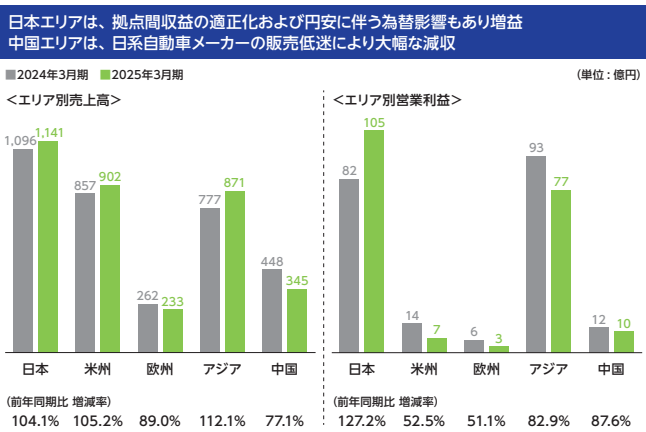
セグメント別業績

	2024年3月期			2025年3月期			営業利益 増減額 (B-A)	営業利益 増減率 (B/A)
	売上高	営業利益 (A)	営業 利益率	売上高	営業利益 (B)	営業 利益率		
輸送用機器関連事業	3,227	186	5.8%	3,228	181	5.6%	△4	97.6%
情報サービス事業	162	18	11.3%	203	21	10.6%	+3	118.1%
その他事業	52	6	13.4%	61	5	9.5%	△1	84.3%
合 計	3,441	211	6.1%	3,493	209	6.0%	△2	98.9%

輸送用機器関連事業	日本・中国エリアの四輪販売が低迷する一方、インド・インドネシアを中心とした二輪販売は堅調に推移し増収を確保
情報サービス事業	車載系組込ソフトウェア開発支援業務、製造業向けAMOサービスなどのITエンジニアリングサービスや、警察向けおよびガス事業者向けシステムの販売が堅調に推移

※AMO（Application Management Outsourcing）サービスとは、お客さまの業務システムを企画・設計から運用・保守までのシステムライフサイクルを通してサポートするサービス

エリア別業績



次期見通しのポイント

2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の通期連結業績予想につきましては、連結売上3,400億円（前期比2.7%減）、連結営業利益180億円（前期比14.0%減）、連結経常利益150億円（前期比24.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は100億円（前期比15.7%減）を見込んでおります。

なお、関税政策については現時点では不透明なため、当業績予想には織り込んでおりません。

株主ご優待について

本年度も、当社では皆さまのご厚情に感謝を込めまして、株主ご優待制度を実施いたします。対象の株主様には6月上旬にお申込み案内を送付させていただいておりますので、以下よりご選択いただきお申込みいただけますと幸いです。

- ①乾麺詰め合わせセット
②商品と同額を寄付（日本赤十字社への寄付（地域を指定しない海外救援金））
優待品のお届け時期 6月28日（土）までにお申込みの方……………7月中旬頃のお届け
7月31日（木）までにお申込みの方……………8月下旬頃のお届け

※やむをえず発送時期が遅れる可能性もございます。あらかじめご了承ください。

株式に関する手続き

証券会社の口座に記録された株式

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
単元未満株式の買取・買増請求 配当金の受領方法・振込先のご変更 届出住所・姓名などのご変更 マイナンバーに関する届出・お問い合わせ	口座を開設されている証券会社	
郵送物の発送と返戻に関するご照会 株式実務一般に関するお問い合わせ 支払期間経過後の配当金に関するご照会	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711（通話料無料） https://www.tr.mufg.jp/daikou/

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
単元未満株式の買取・買増請求 配当金の受領方法・振込先のご変更 届出住所・姓名などのご変更 マイナンバーに関する届出・お問い合わせ 特別口座から証券口座への振替請求	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711（通話料無料） https://www.tr.mufg.jp/daikou/
郵送物の発送と返戻に関するご照会 株式実務一般に関するお問い合わせ 支払期間経過後の配当金に関するご照会	株主名簿管理人	